いわき民報
発行所 平市田町48 電381・176 1222
社長 いわき民報印刷発行 吉田原
編集 吉田原

5枚ずつ續きが
ズバリ當り
メ 参百萬圓
宝くじ
1枚30円抽せん3月26日
買ひ逃がしのないうちお早く
日本勧業銀行

飯野村併合 滿場一致で可決

平市會 四月から實施

平市臨時市會は十五日午前十時四十五分より開き『飯野村を廢し平市に編入の件』を上程した、この日出席した議員二十一名、傍聽席の三階には飯野村の永山村長、鈴木議長を始め代表者十名のほか菊池縣會議長らの顔も見えた、先ず金古議長が型の如く開會を宣してのち鈴木市長が立ち『昨日飯野村會は平市との合併を滿場一致で決議したことは目出度い、ここに皆さんと共に寿び合いたいと思う』と挨拶あり質疑應答に入った

佐藤（源）飯野村の青年層は今度の合併について反對署名簿を持って民事部へ陳情に行ったと聞く、同村に反對運動があるとすれば市當局が知りうる範圍内で說明せよ、合併條件も示せ

鈴木市長＝合併反對については、これぞと云う話も聞いていない、反對せんがための反對はどこにもあるものだ、合併條件は何もない、飯野の財産は飯野側で今月中に自由處分し裸で合併することにしている、役場はそのまま殘し支所としたい

同村の更員はそっくり市更員とし村長は市助役として飯野支所長とする考だ

眞木＝合併に至るまでの經過と同村の財政狀況を報告せよ

阿部助役＝交渉委員は飯野に三回、飯野から二回來ている、その間部落懇談會も開いて村民の希望を聞くことに努めた、合併に反對したのは中山、上高久、谷川廻の一部にあった程度だ、飯野の財政は借財もなく健全である

石山＝合併は悉つたより早かったことを喜ぶ、質疑應答はせず本日は無條件で承認するよう望む

と發言あって直ちに採決に入り全員起立して滿場一致四月から飯野村との合併を可決、十一時五分閉會した

平の人口三万八千に

四月から平市に合併する飯野村は人口四千六十九名、戸數六百八十九戸、面積十九・九一平方キロで合併前の平市人口は全國で二百三十三市中二百二十位だったものがこれにより二百一位になったわけである（昭和二十三年度常住人口調査による）

玉川の二の舞が

飯野村合併反對陳情

飯野村會は十四日滿場一致で合併決議を行ったが、これに對して反對派は全有權者二千九十名のうち千七十七名の過半數の反對署名をとり村會に突きつけたが同村會はこれを全然無視して決議して仕舞ったのでその非民主的態度にいきり立ち同日午後三時廿分發列車で北郷喜勝、鈴木伊勢興草野忠吉の三氏は急遽出福、目下開會中の縣會及び民事部に反對の猛運動を行った、かくて本問題は益々混亂紛糾する模様で小名濱玉川合併の二の舞を踏むものと見られている

合併賛否意見

【反對】

飯野神谷と合併するは平市と言う形をなさず苟且く延期すべき事、時期尚早なり

平市長橋　渡邊榮雄

平市は商業地なり合併したとして醬油の一升も反物一反も賣れ增しはせぬ

平市　永山芳彦

市民村民の意志に反してまでも行わなければならない重大性があるとは考えられない、小は小なりに立派に成長してゆくべきであろう、如何なる人々に見られ樣とも充實完全なる平市であるならば合併絶對反對を叫ぶ人々は居る筈がないお互に平和を愛すべきだ

平市古殿治町　渡邊金藏

【賛成】

小名濱と共に東北の南關門たらしめる爲隣村を合併し發展を期せ

發城跡　大和田道隆

政治文化産業あらゆる中心である大平市發展の爲強いては縣議所在地も平市に

小名濱　小松　光雄

平和の爲辭表撤回運動

神谷村内に起る

合併問題が紛糾して神谷村會は總辭職となり村政運營に大きな支障となったが、村の円滿中和の爲村内に辭表撤回の運動が早くも展開されようとしている、右について合併反對の總師悲智傳吉氏は語る

村の平和の爲この儘放置出來ないから村民大會を開いて村民の意向をきいた上で全議員の辭表を撤回するようにする積りだ

配給麦の ローソク

平市では燈火用ローソク四百世帶分が割當になったので二十日から三日間希望配給する一本四円三十錢で一世帶二十本限り先着順に、物資斡入通帳持參地區商業組合で配給

公民館會議

廿三日開く

平市では二十三日後一時から役所委員會室に公民館委員會議を開催、圖書部利用方の勸奬方法、施設出方法、公民館建設構想等につき協議する

四人殺し公判

高久村一家四人殺し大谷欣完（二〇）にかゝる强盜殺人事件の第二回公判は十五日午後一時から地裁平支部に開廷、證人調べを行った後、檢事の論告に移った

第二波無期限スト

六炭鑛一萬六千名が突入

十四日の常磐炭鑛のストに次いで十五日からの第二波無期限ストの參加炭鑛勞組は常磐を始め、万治、磐、古河好間、隅田川、山一の六炭鑛、六單組でスト突入人員一万六千六百四十六名、當日のストによる減炭は五千七百二十二屯と鑛業連盟では推定している

第一波のスト參加勞組は十二炭鑛十四炭組であったが第二波に入ってその炭鑛數が半減したことは、中斗指令第六號による弱少炭鑛の

完全就勞成る

緊急事業に割當る

縣失業對策實施本部平支部では三月攻勢に備えて十四日午後一時から樋口縣職安課長、高橋職業課員出席のもとに平市役所委員會室に對策部會を開き十五日から三十日間内郷百名、平、湯本、好間、赤井各五十名の計三百名を縣補助による緊急對策事業に割當てることに決定した、このため平では十五日から完全就勞となり他の地區もほぼ完全就勞となった、なお二十五年度の對策事業として實施個所及割當人員の倍加を見込まれたがこれは勞働省の決定によるものとして二十日ごろ決定をみる模樣でこれによって失業對策の万全を期すこととなった

中田久子を逮捕

平事件容疑

平事件の附和雷同組とみられる内郷町大字白水字入山四七の鑛炭鑛選炭婦中田久子（二二）は十四日午前十一時五十五分ごろ自宅で内郷署員に捕まった、中田は『平事件當夜は署外で同僚を待っていた』と語っている

自轉車泥容疑

平市新川町十八坂金丁田中宣政（四〇）は十四日自轉車窃盜容疑者として捕え目下取調

隆盛な子供金融機關

四百五十萬の貯蓄

石城地方事務所管内のこども銀行などの設立狀況は一般の金詰りを外に益々さかんで十四日現在の調査によると銀行が五校で八十二万、郵便局十六校百五十五を貯蓄している

一校百三十万円、信組三校八十四万円の計四百五十五万円を貯蓄しており中でも勿來三小の子供の郵便局では三百八十名で三十三万円、二千円、郵便局十六校百五十五を貯蓄している

十八万二千円、農協組二十

米十俵押收

列車を臨檢

平鐵道公安室では十四日常磐線二二二列車（一時二十六分平發）を平―水戸間にわたり臨檢を行った結果、經濟違反七件米一九六キロ（約三俵）車内置去品四十九コ、四二三キロ（約七俵）を押收、水戸地區署に引渡した

萬引の現行犯

好間村大字小谷作字白畑三四農業中村武男（五三）は十四日午前九時半ころ平市三丁目東平物産會社から子供物純毛レギングス二番千円相當を盜み現行犯で捕まった

小切手廿六萬圓

車中でスラる

十四日常磐線二二列車水戸行き、浪江―泉間で翻訳縣滑水市井尾取締役副社長片山命（二九）氏は前二輛目の車内で寢ている間に現金千円、小切手六万五千七百円並びに翻訳縣清水銀行拂戻しの二十万一千六百円の小切手合計十六万八千三百円をスラれたことに氣が付き慌てて平鐵道公安室に届出た

寫眞を飾付

ミス・タイラ

本社後援ミスタイラ、たいらの美人を選ぶ小間物平化粧品組合主催の寫出しは十日より開始しているが推薦候補者の寫眞は豫定よりおくれ十五日各店に飾付けられ拍車をかけることになる

天気予報

【今晩】北よりの風弱くよい天氣

【明日】始め北よりの風日中は南よりの風暖かなよい天氣で下り坂、海上は今明日ともおだやか、空氣が乾燥しているから火の元御用心

○營機お詣り下さい　梅は滿開です
十八、十九、廿、廿一、廿二、廿三、廿四日七日間毎日午後一時法要說教

お彼岸會

飯野村下荒川　龍門寺

平デザイナー洋裁

本科、研究科、裁斷科、夜間部募集

平市土橋電四八九

○大町からバスが出來ます（十円）江名行なればヤヶ入停留所下車（車中五分）小名濱行なれば上荒川停留所下車（車中五分）龍門寺まで徒歩五分

資生堂化粧品祭

ご愛用者豪華サービス

大賣出し

特賞コロンビア RG―一五三 五球スーパー 電氣蓄音機＝一本

一等 高級三面鏡 二本
二等 高級革製ハンドバック 六本
三等 婦人用腕時計 十本
四等 高級コンパクト 二十二本
五等 化粧品詰合圖 二百二十本
六等 白ばら洗粉 二十二万本
次くじなし

期日 三月十五日より
抽籤發表 五月末日紙上

資生堂化粧品二百円御買上げの御愛用者に抽籤券を進呈致します

主催 資生堂チェーンストアー

平市三町目 大黒屋洋品店
同 銀座通 藤越デパート
同 二町目 大平小間物店
同 二町目 中野洋品店
同 田町 大野化粧品店
同 大町 藤倉商店
内郷町金坂 東京商店
湯本町三函 仙台屋洋品店
同 驛前通 九頭見洋品店
同 上町 丸丹百貨店
小名濱町本町 一條藥店
同 植出町台町 ダルマ藥店
同 本町 安田藥局
同 町 金成商店

平市・石城郡町村の皆樣へ

縣稅並に市町村稅納入について

既に縣稅並に市町村稅については督促狀が發送されて居りますから其の指定期日までに必ず納入して下さい

尙指定期日までに納入されない場合は傳令書の納入期日に遡って日歩二十錢の延滯金が加算されますから御注意下さい

石城地方事務所内
租稅完納運動石城支部

二本屋

食堂

平市中央通り（電886）
世界館入口

いよ〳〵近代的な食堂のデパート

開店近し

皆樣が必ずお氣に召す明るい室内とサービスの美味しい洋食とお茶を御期待下さい！

パーテー、集合、社交等にゼヒ御利用下さい

母トラ儀葬儀の際は御多用中の處遠路態々御會葬下され且御鄭重に御香奠を頂戴致し有難う御ざいました略儀ながら紙上にて御禮申上げます

昭和二十五年三月十五日

磐崎村
喪主　久保木謹吾
外　親戚一同

源隆院

葬送の際は御多用中の處遠路態々御會葬下され且御鄭重なる御香奠を賜り御芳志の段深謝致します

昭和二十五年三月十五日

平市長橋町六七
男　吉野浩平
妻　吉野ハナ
親戚代表　吉野善彌
友人代表　鈴木甚藏
吉健鐵工所
平酸素製造所

賃貸價格の話

（上）

根本禮一

最近非常に賃貸價格と云う言葉が話題になって居る樣で家賃とか地代の問題には必ず賃貸價格と云う言葉が尋ら使って居ります、又新聞紙上にても賃貸價格の千倍とか八百倍とかと大分さわいでおりますが賃貸價格と云うものが如何なるもので、どうして出來たか余り知らない人が多い樣であります、從つて賃貸か格と云うものが家賃と誤解している人も大分あります、或は又一カ年分とか一カ月又は一坪ですかとか御質問される方が多々ありますがそれは間違つております、それで大体の沿革から書いて見る事も參考になる事と思います、昔より土地から租稅つまり上納を擧げて政治をとつた事が一番大きい國の稅金だつたので又一番大切な事だつたのです、では土地と云うものは如何にしてそれを各領主の持分とするか、又は石高にしたかと云う事になりますとそれは大体山とか山とかが主だつた事でそれを調べ上げたものを土地台帳となつたのです、土地台帳を昔は水帳と稱した事があつた、これは水の流れに依つて境界とか云うものを設定したので、山と山との谷間の流水つまり分水で、平坦地の場合は川とか溝で境を定めましたのでかりに賃貸した場合に必要經費を差引いて大体如何程收入あるかと云うことに依つて之を賃貸價格と改めた事もうなずかれる事と思います、宅地の地價は田畠より非常に高くなつたので昔の堅い人は實際は宅地であつても地目は雜地とか畠等にして地目變換をしない人が多かつたそうです、最近は農地法や種々な法律によつてほとんど變換なつております、賃貸價格は十年目毎に變る事に法律で定められておるのです、十年位經つと世の中も變ります等田とかと云つて十二級迄あつたそうで收穫高に依つてか格をきめてそれより、今の言葉で云う必要經費つまり肥料代とか人足代賦役割又は水利費等差引いて殘りを大体金に見積もつて地かと云うものを決めたらしいので大正元年迄地かと稱した、早く云えば土地の位、土地の力と云うものを數字で表現した事と思えば間違いありません、昭和二年に地價を賃貸價格と改めたのです、之れは宅地が田以外の土地と稱して宅地の地價は之を利用價値に重點を置いたものであります、甲地とか乙地とか丙地とか云うのは土地の位を表現したのであります、一等田とか二等田とか云うのは收穫高を以て決めた事と考えられます